

小田急電鉄30000形「EXE」のバリアフリー設備のご案内 (2017年3月4日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と表記)

5号車と8号車の1番AD席が車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。

また5号車と8号車の2番ABCD席が介助・同伴者用の席として、車いす対応座席と共に一般席とは別枠で管理されています。

(A席は相模湾側、D席は丹沢山地側)

ただしこれらの席は、一般席が満席近くなると健常者にも発売されることがあります。

多目的室

設置されていません。

車いす対応トイレ(次ページの配置図で「B」と表記)

5号車の小田原寄りにベビーベッド(おむつ交換台)を併設した多機能トイレがあります。

8号車の小田原寄りにあるトイレにはベビーベッド(おむつ交換台)がありますが、車いすに対応した広さではありません。

洗面所

5号車と8号車の小田原寄り(トイレの向かい)に設置されていますが、車いす対応構造と言えるかどうかは微妙です。

公衆電話

NTTドコモの第2世代携帯電話「moVa」のサービス終了に関連して、2012年3月17日のダイヤ改正の頃に撤去されました。

それまでは3・4号車の新宿寄りと9号車の小田原寄りに車いす対応でない構造のものが設置されていました。

飲料自動販売機(次ページの配置図で「V」と表記)

3号車と9号車の売店区画内に車いす対応構造でないものが設置されています。

受動喫煙の発生状況

2007年3月18日から全車禁煙です。

乗車・調査の実施記録

2007年8月26日(日曜日)新宿8時40分発「さがみ61号」

(新宿駅発車前に調査)

車両番号・5号車=デハ30201(1996年・日本車両製)

2017年12月4日(月曜日)片瀬江ノ島17時26分発「えのしま82号」

(全区間を8号車3番D席に乗車)

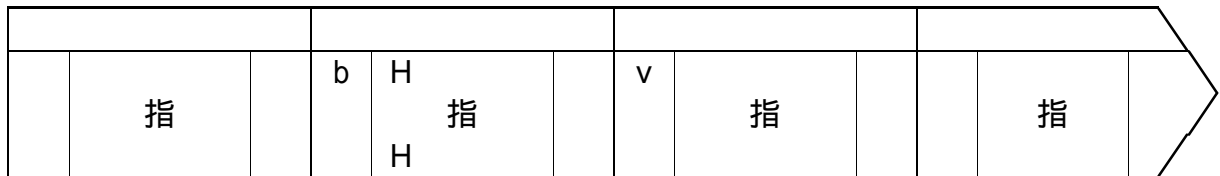
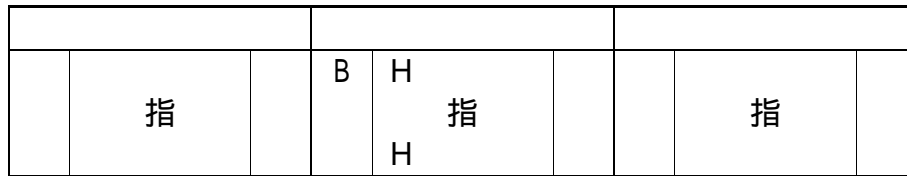
車両番号・8号車=デハ30107(1997年・川崎重工製)

次ページ以降に掲載した写真のうち3～5号車は2007年に、7～9号車は2017年に、それぞれ撮影したものです。

小田急電鉄30000形「EXE」の車内設備の配置図

箱根湯本 (はこね) 新宿
 小田原 (さがみ) 新宿
 藤沢 (えのしま) 片瀬江ノ島・新宿

「はこね」では1～6号車が箱根湯本発着で、7～10号車は小田原発着です。
 「はこね+えのしま」では1～6号車が「はこね」、7～10号車が「えのしま」です。
 (「えのしま」は藤沢で進行方向が変わります)



凡例

- 指 = 普通車指定席
- B = 車いす対応トイレ(ベビーベッド付)
- P = 公衆電話(車いす対応)
- K = 売店(兼・車内販売準備室)
- ♥ = AED(自動体外式除細動器)
- H = 車いす対応座席
- b = 車いす非対応トイレ(ベビーベッド付)
- p = 公衆電話(車いす非対応)
- v = 飲料自動販売機(車いす非対応)

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



小田急電鉄30000形「EXE」



小田急電鉄30000形「EXE」の
車体側面のロゴ



小田急電鉄30000形「EXE」の
5号車の車いす対応座席



小田急電鉄30000形「EXE」の
8号車の車いす対応座席
背後の壁に非常通報器が見えるが
車いすの人には届かない高さ



小田急電鉄30000形「EXE」の
8号車の車いす対応座席の
車いす固定ベルト



小田急電鉄30000形「EXE」の
8号車の車いす対応座席の窓下にある
非常通報器



小田急電鉄30000形「EXE」の
5号車の多機能トイレ



小田急電鉄30000形「EXE」の
8号車のトイレ
車いすのまま入れる広さは無い



小田急電鉄30000形「EXE」の
5号車の洗面所



小田急電鉄30000形「EXE」の
8号車の洗面所
幅が狭く洗面器の下に蹴り込み空間も無い
ため車いすでの利用には不便



小田急電鉄30000形「EXE」の
3号車の公衆電話と飲料自動販売機
(公衆電話は現在は撤去)



小田急電鉄30000形「EXE」の
9号車の公衆電話撤去跡(左上)と自販機
車いすの人には手が届かない場所



小田急電鉄30000形「EXE」の
7号車デッキのAED



小田急電鉄30000形「EXE」の
9号車の飲料自動販売機
公衆電話撤去跡は自販機の向かい